

滝久雄基金海外体験学習報告書

情報理工学研究科 数理・計算科学専攻修士2年

2011年8月30日から9月30日までの一ヶ月間、アメリカの有機農場で農作業を体験しました。有機農業は化学合成された無機質の肥料、農薬の利用をやめる農業です。農作物の収穫量よりも、土の中までも含む生態系全体の健全性と人の健康に重きを置いています。有機農業は公的に地球の自然、生態のために、私的に一人一人の健康のために、重要な課題です。私はWWOOF (World-Wide Opportunities on Organic Farms) という機関を通じて、有機農場が最も発達しているアメリカの有機農場で体験するチャンスを得ました。以下の四つの農場で、さまざまな農作業を体験しました：

一.

8月30日から9月2日まで、ホノルルにある「Kamuki Urban Plantation」という有機農場で農作業を体験しました。

作物を灌漑したり、魚に餌をあげたりしていました。より難しい農作業と言えば、小さな作物をポットから畑へ移ることを勉強しました。

二.

9月2日から9月9日まで、マウイ島にある「Hana Herbs and Flowers」という有機農場で働きました。百種類以上の花を植えています。その農場で植えたハーブも当地で有名です。

この農場で、私はハーブと花を収集しました。当地の祭りで、ハーブを料理にして、花をきれいに挿して、そしてこれらを売ることも体験しました。

三.

9月9日から9月16日まで、カウアイ島にある「Kauai Sustainable Ag. Systems」有機農場で働きました。この農場の特徴はたくさんの果物の木と「Taro」というイモを有することです。

この農場で、私は毎日コインを灌漑していました。アボカドの木のために草刈りました。Taroを植えることも体験しました。

四.

9月16日から9月29日まで、サンフランシスコの近くのLagunitasにある「Mt. Barnabe Farm」という有機農場で働きました。ラズベリーの木がたくさんあります。

行く前にラズベリーを育てるのを勉強できると思いましたが、農場に着いてみたら、ラズベリーはもうきちんと植えられています。九月は収穫の季節でした。週に四日、ラズベリーを収穫しました。でも、収穫のほかに、木の形を直すことをも勉強しました。

四つの農場とも有機農場です。草刈りのような農作業などは、時間も力もかかる作業で、除草剤は代わりに簡単なのですが、農場主たちは決して除草剤を使いません。肥料も化学合成された無機肥料をやめ、落ちた葉や動物の糞などはかわりに使われています。化学合成された薬をやめることだけではなく、水を節約することやビーチでゴミを拾うことなどによって、私は、農場主たちの自然を愛することに感動しました。これから私も自然に優しく接していきたいと考えています。